

まち活④ つうしん

ねりままちづくりセンター

取材 / 2009年1月10日

——サンサンと降る太陽の下、青々とした芝生のおいが立ちこめます。ここは区立中村小学校のグラウンド。この芝生の維持管理や、芝生を通じた地域コミュニティづくりをテーマに活動するのが、中村小学校グリーンキーパーズ（NGK）です。校庭の芝生がどう地域コミュニティづくりに役立つのか、芝生の手入れや防災キャンプなどの活動の背景にある、地域づくりの思い、考え方を聞きました。

「面倒」が地域を結びつける

取材に伺ったとある土曜日、中村小の芝生の校庭では、子どもたちがサッカーで歓声をあげています。その様子を見ていた方に「やっぱり芝生の校庭、いいですね～」と声をかけてみたら、「そりゃ子どもたちは喜んでるよ。だけど、芝の手入れは大変だし、養生期間は使えないし、種目によっては芝生を痛めるから他の場所でやらなきゃい

けないこともある。ここは本来校庭だから、いろんな使い方がしたいし、学校と地域で管理をどうやってうまくやっていくかとか、いろいろ面倒なこともあるんだよ」と話してくれました。

そんな面倒な芝生の世話をしつつ、コミュニティづくりをする中村小グリーンキーパーズ（以下、NGK）の皆





さんに、「芝生を通じた防災コミュニティづくり」について、お話を聞いてみました。

本当に役立つ防災訓練を

「芝生を通じた防災コミュニティづくり」の中心は、芝生の校庭で行う防災キャンプです。校庭でキャンプ？ いいなあ。でも、防災訓練なのにそんな楽しそうでいいの？

「防災訓練って、大事なのに、みんな

▶中村には「中村もちつき歌」ってあるの知ってた!?

な何かお客さんとして参加してるって感じでしょ。それでいいのかなと思って、もっと楽しくできないかなって考えた。そしたら、せっかく芝生の校庭がある、児童の父母にアウトドア好

きの人も多い。地域のボーイスカウトも協力してくれるってことで、それじゃあ、校庭でキャンプやろうってことになったんです。」と代表の鈴木さん。中村小は、災害時の避難場所です。いざというときに混乱が起きないためには、地域の人たちがお互い顔を合わせ、話をすることで、互いの存在を日常的に知ることが大切。そこで、地域の様々な人たちが集まれる楽しい防災訓練にしよう。それが「芝生でキャンプ」のねらいだったんですね。

芝生が地域の接点になる

「このへんは町会の加入率が低いし、区のイベントなんかも少ないんで、地



団体さん、今日を振り返る。
活動メンバー桜木さんのお話

NGKは中村小学校の「校庭芝生管理」に携わる人・団体の総称であると考えています。

芝生は緑化や温暖化防止の為にあるのではなく、校庭という場所を広く地域のコミュニケーションを図る場所にしてくれます。人が集まるために芝生を維持したり、芝生にも目を向けてもらうことはとても大変ですが、子供と共に芝生も元気に育てて地域力を強め、多くの人と「わがまち」という気持ちを持っていけるきっかけを作り出していきたいです。



メンバーの鈴木さんと桜木さん

僕たち3兄弟、
キャンプに参加しました！

8月22日。芝生の上で防災キャンプを行いました！

桜井侑太(8歳)・侑太(9歳)・連(4歳)くん
「ワクワクして、なかなか眠れなかったなあ。」

「朝は豚汁づくり。薪割り・野菜切りを手伝ったよ。」

「キャンプに来ている人と仲良くなった！」

桜井お父さん

「アウトキャンプは全くやらないので、いい機会でした。」



域活動を活性化しにくい。だけど、この中村小を基点に見てみると、子どもやPTAなんかを通じて、地域の様々な人や団体が実はつながっている。だから、小学校が地域の入口、繋ぎ役になれば、このまちはつながっていけると思う。」と鈴木さんは言います。「芝生だって、あんな面倒なものって言う人もいたけど、普段の手入れや養生の必要性とか、だんだん理解が広がってきたんじゃないかな。」校庭に芝生があるから、普通なら面倒くさいだけの防災訓練を楽しめるキャンプにできる。面倒な手入れが必要だから、地域の人たちが「子どもたちのために」と集まって、いっしょに汗をかく機会をつくれる。校庭の芝生という大きな「面倒」を逆手にとって地域をつなぐ。それがNGKの大きな目標のようです。コミュニティづくりに悩む地域は多いはず。あなたのまちでも「面倒」なこと、始めてみませんか。

▶中村小の正門にある桜の木は開校の時に植えたものなんだって。

活動団体基本データ

設立

2005年11月

活動テーマ

学校・PTA・町会などの地域と行政が連携をとりながら、中村小学校の校庭芝生を維持・管理していくことを目的に設立しました。現在は、芝生を基にしたまちづくりやコミュニティづくり等に発展できる活動に移行しています。

活動実績

- ・グランドゴルフ大会、プロ野球選手による親子野球教室(2007)
- ・野点の会、校庭キャンプ、ボーイスカウト餅つき大会(2008)
- ・野点の会、校庭防災キャンプ(サッカーチームによるサッカー教室、ボーイスカウト餅つき大会など)(2009)

ホームページ
<http://www.shibafu.jp/ngk/>
団体連絡先
info@shibafu.jp

団体拠点案内



活動場所

中村小学校
(中村2丁目8-1)

練馬まちづくりセンター

発行日 2010年3月8日
取材/編集 練馬まちづくりセンター
デザイン 濱祐斗 山口真生
発行元 (財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター
練馬区豊玉北5-29-8 練馬センタービル 3階
Tel 03-3993-5451 Fax 03-3993-8070
Email machi@nerimachi.jp Web <http://nerimachi.jp>

練馬まちづくりセンターは、練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実施する組織です。

これからの展望

みんなの芝生へ

校庭に芝生がひかれてから5年目。去年と今年、キャンプを実施したことで、芝生を拠点とした“地域力”が強くなったように思います。「中村ってひとつだよ」とみんなが言えるような環境にしていきたいです。そのためには、芝生の維持・管理をメンバーだけではなく、みんなでやっていく仕組みづくりも考えていく必要がありそうです。

今後こんなグループとつながりたい!

エコメッセ練馬/練馬区防災課/中村東町会
/地元ボーイスカウトなど

活動メンバー紹介



桜木 道郎 さん

笑顔が素敵な桜木さん。同世代のお父さんたちと、息の合った会話で話が盛り上がりやすい。奥さんの則子さんとともに、コアメンバーとして活動を支援しています。

佐藤 直樹 さん

夏キャンプでは、ボーイスカウトの経験を活かして薪の割り方などをご指導されました。ほぼ同期卒業生というメンバーと懐かしい中村小の先生の思い出話も。

金澤 博幸 さん

中村小学校の芝生維持管理には、なくてはならない人。NGK役員。

他にもたくさんの方がいらっやいます！是非活動をのぞいてみてくださいね。

練馬まちづくりセンターは“まちづくり活動助成事業”で、中村小学校グリーンキーパーズを応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的としています。



【はばたき部門】助成金額30万円以内

身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動への助成



【テーマ部門】助成金額1年目10万円以内 2年目50万円以内

身近な場所で生き物や自然空間をみんなで楽しみながら創り出す活動への助成



【たまご部門】助成金額3万円以内(年中受付しています)

上記2つの部門の様なまちづくり活動を始める、きっかけづくりや学習会などを開催するための助成